



まきび進路だより

令和6年7月19日発行
岡山県立倉敷まきび支援学校
進路指導係

◎高等部現場実習がありました（今回はA高の現場実習の様子を紹介します）

高等部1、2年生は6月3日～14日の2週間、3年生は21日までの3週間に渡って、現場実習を行いました。1年生は「初めての校内での実習」、2年生は「初めての一人で校外での実習」、3年生は「進路先を決めていくための実習」でした。それぞれの学年で目標をもって取り組んでいました。

実習が終わったから終わりではなく、実習で見つけた課題についてきちんと振り返り、学校生活や家庭生活で課題改善に取り組むことが大切です。課題を意識し、次の実習に活かせるように学校でも取り組んでいきたいです。

【実習の様子】

高等部1年生校内実習



高等部1年生は初めての校内実習です。
職業コースはひも通し、くくり、検品等の作業を分担しながらペットボトルホルダーを製作しました。
生活コースはカタログの封入や配線リサイクル、サンプルはがし等をしました。報告も姿勢正しく、適切な言葉遣いで行っています。

高等部2年生校外現場実習（体験実習）



高等部2年生は初めての個別での校外現場実習です。
実習先の職員さんの指示を受けて仕事をしたり、知らない人ばかりの中で休憩時間を過ごしたりと、緊張の2週間だったと思います。保護者の方もドキドキ、ハラハラしながら送り出していただいたことと思います。
実習先の方から評価を聞くと、今まで身に付けてきた力が発揮できている姿や、社会に出る上でこれから身に付けるべき課題が見えてきます。2学期の実習だけでなく卒業後の生活に向け、これから学校や家庭で課題を意識し、様々なことに取り組んでほしいです。

高等部3年生校外現場実習（進路先を決めるための実習）



高等部3年生は卒業後の進路先を決めるための現場実習です。
多くの生徒が2年生で体験として行ったことのある事業所での実習で、2年次よりも長い勤務時間（卒業後、実際に働く時間）で働いたり、仕事内容も複雑になっていたりする生徒もいました。昨年度からの成長も見られ、実習先からよい評価を受けることができた生徒も多く見られました。実習先に快く受け入れてもらえるよう、2学期の現場実習も頑張ってください。

◎小学部で取り組んでいること

小学部では、「日常生活に必要な力を身に付けること」「みんなのために役割を果たすこと」「社会のルールやマナーを学ぶこと」など、将来、社会の中で生活したり、働いたりするために必要とされる基礎的な力や態度を養うことを目標に、日々様々な学習に取り組んでいます。

【1年生】学校生活にも慣れ、一人で頑張る姿が見られています。おいしい給食、大きな口を開けて、もりもり食べるよ！



【2年生】週に1度、教室の掃除に取り組んでいます。掃除道具を使うことに慣れ、自分たちの身の回りをきれいにする習慣を養うために取り組んでいます。きれいになった教室を見て、みんな嬉しそうです!!



【3年生】給食当番に取り組んでいます。初めのうちは、牛乳やストローなどを配る活動をしていましたが、配膳台を並べたりアルコールスプレーで消毒したりすることにも挑戦し、できることが増えています。



【4年生】毎日順番に、朝の会と帰りの会で日直の仕事をしています。めくり式のスケジュールや iPad を使い、児童が会の進行をしています。



【5年生】ついに高学年の仲間入り。今年度からは学部集会の運営をしています。自分の係を意識し、小学部のために司会進行をがんばっています！



【6年生】委員会活動に取り組んでいます。保健委員会では、アルボース容器を回収して液を補充し、環境委員会ではゴミを集めています。「ありがとう！」と言葉を掛けてもらうことで、みんなの役に立っていると感じ、自信につながっています。また中学部の学校公開に参加し、中学部のお兄さんお姉さんが作業学習に取り組む姿も見学しました。中学部へのイメージや見通しをもつことができました。



◎家庭での役割はもっていますか？

明日からいよいよ夏休みです！休みになりほっとしている生徒、何をして過ごそうかなあと思っている生徒、色々な人がいるのではないのでしょうか。熱中症に気を付けながらも、しっかりと頭と体を動かし充実した日々を過ごしてほしいと思っています。

その一つが「お手伝い」です！ 昨年、進路だよりで次の表をお示ししました（抜粋）。

こんな「手伝い」ができるかも？！一覧		
食事	・配膳をする。 ・ご飯などの盛り付けをする。 ・箸などのカトラリーを並べる。 ・飲み物をつぐ。 ・食べ終わった食器をシンクに置く。 ・食器を洗う。(泡を流すだけの係も) ・食器を拭く。 ・所定の場所に食器を戻す。	一つの仕事でも、1日に3回役割あり！ 洗濯 ・洗濯洗剤を投入する。 ・スイッチを押す。 ・洗濯物を取り出す。 ・干す。(靴下とか簡単な物から) ・取り込む。 ・たたむ。(ハンカチやタオルから) ・仕分けをする。 ・所定の場所にしまう。 ジェルボールなら計る必要なし！
掃除	・モップをかける。 ・掃除機をかける。 ・ロボット掃除機のごみを捨てる。 ・雑巾がけをする。 ・机を拭く。 ・家電や家具にモップをかける。 ・ゴミを分別する。つぶす。	床拭きシートなら、取り外しも簡単！！ その他 ・買い物で商品をかごに入れる。 ・支払いをする。 ・おつりをもらう。 ・買った商品を袋に入れる。運ぶ。 ・トレーなどをリサイクルBOXに入れる。 ・頼まれた物を一人で買ってくる。 ・玄関の靴を揃える。 キャッシュレスなら簡単！

上記のように細分化してみると、保護者の方も「これなら任せられる！」というものがあるのではないのでしょうか。「今の自分の力を使って人の役に立つことができるんだ」という体験を大切にしながらも、今回はお手伝いのアレンジについて考えてみたいと思います。

(例) ご飯を炊く



お昼のご飯、ちょうどいいかたさでおいしかったよ！
目盛りをよく見て水を入れていたもんね。いつもありがとう。
今夜はカレーライスにしようと思うから、今度は少しかためのご飯を炊いてくれると嬉しいなあ！

少しかためのご飯ねえ…どうやったらいいんだろう。
水の量がどうとか目盛りがどうとかって言っていたなあ。



このように、できていることをベースに少しレベルアップを狙ってみるのもよいかもしれません。「ご飯を炊く」といういつも通りのお手伝いをするだけでなく、より本人の思考を働かせて取り組んだお手伝いで貢献できると、喜びもひとしおかもしれませんね。

ただ、「ご飯を炊く」というお手伝いは高度なことかもしれません。しかし、「箸を並べる」というお手伝いに置き換えて考えたとき、「いつも箸を並べてくれてありがとう。今夜はカレーライスにしようと思うんだけど、何を並べておくといいかなあ？」というように問い掛けることはできるのではないのでしょうか。もちろん、お子さんが出す答えがスプーンとは限りません。「ルーが散るからランチョンマットを敷いておこう！」かもしれません。はたまた、「口が汚れるからティッシュがたくさん要る！」かもしれませんね。我々大人が引き出したい答えと異なっていたとしても、「家族のために自分で考えた」という事実を捉えて、「ありがとう」と伝えてあげてください。

高等部では、「効率を考えて自分で工夫して取り組む姿が見られた」と実習先の方から評価をいただくことがあります。日常の「自分で考えてやってみたことで、周りの人に喜んでもらえた！」というような体験が、このような積極的な姿勢を作っていくきっかけの一つになるのかもしれないですね。

